

令和4年度

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団
決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

目 次

令和4年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告書

I 概要	1
II 事業実施状況	1
III 組織運営状況	14
IV 附属明細書の作成について	17

令和4年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算報告書

I 貸借対照表	18
II 貸借対照表内訳表	19
III 正味財産増減計算書	20
IV 正味財産増減計算書内訳表	22
V 財務諸表に対する注記	24
VI 附属明細書	26
VII 財産目録	27
監査報告書	28

令和4年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告書

I 概要

鹿児島市に住む外国人は、令和4年4月1日に2,970人でしたが、令和5年4月1日には3,657人となり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための入国制限が緩和され、コロナ前のように増加しつつあります。

本財団は、令和4年度も国際交流センターを拠点に、多様な企画・事業を展開し、鹿児島市の国際交流を推進しました。また、施設の貸出件数が前年度の約1.2倍になるなど、市民に親しまれる施設として適切な管理運営を行いました。

更に、多くの市民や団体の方々の協力を得ながら、ウクライナからの避難者支援やトルコ・シリア地震災害への募金を行ったほか、8月に亡くなられた京セラ名誉会長の稲盛和夫氏を追悼する記帳を行いました。

予定していた事業の中には、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や規模の縮小を余儀なくされたものもありましたが、感染症対策に万全を期す中で、定款に定める「国際交流の推進」、「国際理解の推進」、「国際協力の推進」、「多文化共生の地域づくりの推進」、「鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業」にかかる各種事業に、賛助会員や多くのボランティアにも参加いただき、積極的に取り組みました。

主な事業実施状況は、以下のとおりです。

II 事業実施状況

1 国際交流の推進

(1) 市民と在住外国人との交流促進事業

① 在住外国人との歓迎交流会

新入外国人の歓迎や国際交流センターの居住留学生と市民との交流を図る場を提供することを目的として、交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ハーティーパーティー	10月30日	新入外国人・留学生の歓迎交流会	244名(外国人124名)

② 市民と在住外国人との1日ツアー

市民と在住外国人と一緒に鹿児島県内の史跡や観光施設等を巡りながら、鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
国際交流探訪バスツアー	12月11日	霧島市におけるバスツアーと国際交流会	56名(外国人29名)

③ 在住外国人ホームビジット

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止しました。

(2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

① かがしまアジア青少年芸術祭（アジアン・鹿児島）

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止となりましたが、青少年ボランティアによるワーキンググループでの準備を重ね、3か国が参加するオンライン音楽祭を開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
かがしまアジア青少年芸術祭ワーキンググループ	7月～10月 全5回	青少年ボランティアによる芸術祭の企画や準備	7～15名
アジアン・鹿児島～かがしまアジア青少年芸術祭～ オンライン音楽祭	10月16日	アジア3か国（タイ・中国・マレーシア）の青少年によるオンラインでの舞踊や演奏の鑑賞会や現地とのリアルタイムでの交流会 市内団体（ベトナム・鹿児島女子高等学校）の青少年による舞台での舞踊や演奏の鑑賞会	239名（うち海外団体95名）

(3) 国際交流人材の育成事業

① ボランティア勉強会

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図ることを目的として、各種勉強会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
料理ボランティア勉強会	4月24日	料理ボランティアの活動内容についての勉強会	8名
日本語支援ボランティアミーティング	6月14日・19日	日本語支援ボランティア活動に関する話し合い	11名
やさしいにほんご勉強会	10月13日	外国人と接する時に重要なやさしい日本語に関する講話とワークショップ	42名

② 運営ボランティアの活用【拡充】

事業運営に協力してもらうボランティアを募集し、アジアン・鹿児島オンライン音楽祭やハーティーパーティー、国際協力講演会等においては、当日運営だけでなく事前の事業準備や企画の立案、広報などの協力をしていただきました。

※運営ボランティア数 計96名

③ 国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題などについての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
事業実施委員会 ※賛助団体会員等の、国際交流に関する39団体で構成	4月20日	3年度事業報告・4年度事業計画の説明及び協力体制協議等	20団体22名
在住外国人ミーティング	5月7日	在住外国人コミュニティ代表者等との、情報連携や協力体制についての協議等	7団体13名 (外国人10名)

④ 登録団体交流会

国際交流センター登録団体の相互理解や連携を深めることを目的として、活動内容の紹介や意見交換のための交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
登録団体交流会 ※定期的に国際交流を行っている団体	8月27日	国際交流センターの登録団体を対象にした交流会(活動内容発表・意見交換等)	19団体21名

2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

① 異文化体験講座

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目的として、在住外国人等を講師に招き、体験型講座を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
インターナショナルカレッジ	6月19日	在住外国人の講師による英語のみでの授業	42名
異文化体験カレッジ～シルクロードを訪ねて～	2月19日	在住外国人の講師によるトルコ・キルギス文化講座 共催：鹿児島県国際交流センター	31名
世界各国のアフリカ系文化紹介講座	3月19日	アフリカ系文化を背景に持つ在住外国人を講師とした、様々な切り口からの文化紹介イベント	68名

② 国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー(CIR)などによる企画イベントを開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
台湾文化・語学講座	5～7月 全8回	台湾出身講師による台湾文化と語学講座	16～27名
留学キャラバン in 鹿児島	7月31日	海外大学留学生による学生と保護者向けの進路選択ワークショップ等	17名

		共催：NPO 法人留学フェロ シップ・鹿児島外語学 院 SGG	
韓国文化講座	9月4日	韓国出身国際交流アドバイ ザーによる、韓国の伝統衣装 についての講座や試着体験	49名
アジア×カゴシマ “Friend-fish”クッキング グ	10月1日 2月4日 全2回	魚類市場で取り扱う新鮮な 魚介類を使った料理教室 (10月1日は外国人対象、2 月4日は魚類市場関係者対 象のベトナム料理教室) 共催：“いお・かごしま”魚食 普及拡大推進協議会	13名(外国人 8名)
韓国語講座(入門)	10～11月 全6回	韓国出身国際交流アドバイ ザーによる韓国語講座	20～27名
中国文化・語学講座 (入門～初級)	1～3月 全8回	中国出身国際交流アドバイ ザーによる中国文化と語学 講座	17～26名
英語文化講座 (中級)	1～2月 全6回	米国出身国際交流アドバイ ザーによる主に英語での米 国文化講座	15～21名
中国文化体験講座 ～刺繍作り～	1月28日	中国出身国際交流アドバイ ザーによる中国刺繍文化紹 介と刺繍作り体験	24名
韓国語講座(初級)	2～3月 全6回	韓国出身国際交流アドバイ ザーによる韓国語講座	14～16名
家族で学ぼう！アメリカ の多様性	2月25日	米国出身国際交流アドバイ ザーによる小学生向けの文 化講座やゲーム等	20名
国際理解講座 ～日本台湾の絆・湾生～	3月25日	「湾生いきものがたり」の上 映と林雅行監督及び湾生お 二人によるトークショー 共催：台湾文化交流会 in 鹿 児島	60名

③ 異文化紹介イベント

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止しました。

④ 絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語による絵本の読み聞かせ講座を開催し、外国語に触れる機会を提供しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
英語と韓国語で遊ぼう	4月10日	米国と韓国出身講師による 自国紹介や絵本読み聞かせ	14名

⑤ 日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本文化や実際に生活する鹿児島県の文化への理解を深めてもらうことを目的として、体験型イベントを開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
Taniyama Day Tour (そうめん流し)	10月15日	慈眼寺公園におけるそうめん流し体験とふるさと考古歴史館見学	20名

⑥ 「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」関連事業

アジアへの理解を深め、交流を進めることを目的として、留学生等が講師になり、アジアの国々や文化を紹介するなど、アジアに特化した事業を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
マレーシア文化講座	7月3日	マレーシア出身講師による文化講座と交流会 共催：鹿児島県国際交流センター	25名
よくわかる！シンガポールの今～現地からのレポート～	8月28日	シンガポール人講師による文化講座	23名

⑦ 和室活用事業

日本文化を理解してもらうことを目的として、和室を活用したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
七夕飾りをつくろう！	7月16日	七夕飾りづくりの体験講座	外国人7名
茶道体験～おもてなしの日本文化～	10月22日、 11月26日 全2回	茶道の紹介と体験講座	外国人14名
日本の遊び体験	3月5日	日本人の地域住民による、外国人のための日本の伝統的な遊び体験	外国人16名

⑧ 調理室活用事業

食を通して外国及び日本に関する理解を深めてもらうことを目的として、調理室を活用したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
世界の台所① ウクライナ	5月22日	ウクライナ出身講師による料理作りと文化等紹介	8名
世界の台所② スペイン	6月26日	スペイン出身講師による料理作りと文化等紹介	10名

世界の台所③ タンザニア	8月21日	タンザニア出身講師による料理作りと文化等紹介	9名
世界の台所④ 中国	9月11日	中国出身講師による料理作りと文化等紹介	8名
世界の台所⑤ アイルランド	10月23日	アイルランド出身講師による料理作りと文化等紹介	8名
世界の台所⑥ 韓国	11月13日	韓国出身講師による料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所⑦ 日本	12月11日	外国人を対象とした日本料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所⑧ ベトナム	1月15日	ベトナム出身講師による料理作りと文化等紹介	10名
世界の台所⑨ ジャマイカ	2月26日	ジャマイカ出身講師による料理作りと文化等紹介	8名

⑨ 国際理解や多文化共生等に関する講話【新規】

学生など市民が多文化共生等への理解を深めることを目的として、学校やその他の機関の要望に応じて本財団職員等が講話等を行いました。

行事名	開催日	内容	参加者数
国際交流財団についての講話	5月11日	学生を対象とした国際交流財団の活動等についての講話 場所：鹿児島国際大学	26名
韓国文化についての講話	5月12日	市民を対象とした韓国文化についての講話 場所：城西福祉館	12名
ボランティア入門講座での講話	11月30日	外国人支援のためのボランティア活動についての講話 場所：ボランティアセンター	16名
国際理解に関する講話	1月25日	大学生を対象とした国際交流財団の活動や、海外留学経験についての講話 場所：鹿児島国際大学	15名
立志の集いにおける講話	2月11日	中学生を対象としたマレーシア人講師による文化に関する講話 場所：武岡福祉館	45名

⑩ 国際理解に関する認定制度の導入【新規】

学生など継続的に国際理解事業へ参加する人を増やすために、事業に多く協力しているボランティア等を認定する制度導入のための準備を行いました。

(2) 広報、情報発信の充実

① 多言語情報の発信

外国人の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザーの協力を得て、時宜を得た旬の情報を多言語表記で発信しました。

② ホームページの多言語情報の提供【拡充】

本財団の事業や関係団体の情報、外国人向けの情報等をより効果的に発信することを目的として、やさしい日本語や多言語によるホームページを作成しました。また、利便性の向上を図るため、自動翻訳機能を備えたホームページリニューアルを行いました。

③ 各種イベントへの協力・広報活動

本財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、他団体が実施するイベントへの協力や展示物の出展などによる広報活動を実施しました。
(サンエールフェスタ、テレビ・ラジオ番組出演、市広報紙・新聞・タウン誌等への情報掲載)

④ 広報誌（K I E X なび）の発行

会報誌を年4回（4・7・10・1月、各3,000部）発行し、当財団会員・関係団体・公共施設等に配付し、情報発信に努めました。

3 国際協力の推進

国際協力活動事業

① 国際協力講演会及び青年海外協力隊員報告会

国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
国際協力講演会ワーキンググループ	8月 全4回	青少年ボランティアによる講演会の広報等	5～6名
国際協力講演会&パネルディスカッション	9月24日	①JICA 事務局長小林広幸氏による講演 「人づくりは、国づくり、信頼で世界をつなぐ国際協力」 ②パネルディスカッション 「紛争後の復興における青年海外協力隊隊員の活動について」 共催：鹿児島県青年海外協力	77名

		隊を支援する会・青年海外 協力隊鹿児島県OB会	
--	--	----------------------------	--

② 国際協力体験イベント・パネル展【拡充】

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、国際協力機構（JICA）等と連携し、体験型講座やパネル展示を行いました。

行事名	開催日	内容	参加者数
JICA 海外協力隊パネル展	5月18日～ 29日	国際交流センター交流ラウンジにおける JICA デスク鹿児島によるパネル展示 共催：JICA デスク鹿児島	45名
自由研究応援！元 JICA 海外協力隊員のお話を聞いて、モルディブ新聞を作ろう	8月7日	小学生を対象にした国際協力に関する講座と交流会 共催：JICA デスク鹿児島	17名
国際協力パネル展 「いっしょき学校を作いもんそ会」	12月13日～ 27日	国際交流センター交流ラウンジにおける国際協力に関するパネル展示	30名

4 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化共生地域づくり推進事業

① 在住外国人のための生活情報勉強会

鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
外国人住民のためのお天気教室&防災セミナー	5月15日	市危機管理課等の協力による気象や防災に関する正しい知識を学んでもらうための研修会と相談会（外国人相談事業と同時開催）	28名（外国人17名）
ゴミの出し方・ルールについて学ぼう！	10月20日	鹿児島市のゴミ出しルールの正しい知識を学んでもらい、生活で実践してもらうための研修会 場所：宝山ホール会議室	外国人139名

② 在住外国人のための防災意識啓発活動

鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識の啓発を目的として、防災訓練へ参加しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
桜島火山爆発総合防災訓	1月7日	総合防災訓練の中で、来場者	7名（外国人）

練への参加		に在住外国人への対応に関して説明するブースを設置 場所：甲東中学校	4名)
-------	--	--------------------------------------	-----

③ 子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、さまざまな国籍の子どもと一緒に楽しめる交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
夏休み！アートワークショップ	8月25日	ウクライナ出身講師による子ども向けの文化紹介と絵の制作や交流会	11名
わくわくクリスマス2022	12月24日	米国出身国際交流アドバイザーと外国語指導助手(ALT)による文化紹介やゲーム等	30名

④ 地域との連携事業

多文化共生の地域づくりを推進し、地域の共生意識の醸成を図ることを目的として、地域住民の日本人や外国人と連携したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
維新ふるさと館訪問 ～加治屋町のみなさんと一緒に～	5月8日	加治屋町地域の住民との交流と維新ふるさと館の訪問 場所：維新ふるさと館 共催：鹿児島県国際交流センター	25名(外国人17名)
Fun&Games！～みんなで一緒に遊ぼう～	5月15日	加治屋町や県国際交流センターに居住している留学生による交流会とゲーム 共催：鹿児島県国際交流センター	21名(外国人7名)
山下校区青少年健全育成大会への参加	12月10日	アンクルンビネカ鹿児島によるインドネシア文化紹介と楽器演奏 場所：山下小体育館 共催：鹿児島県国際交流センター	26名(外国人17名)
山下校区総合文化祭への参加	1月29日	アンクルンビネカ鹿児島による楽器演奏とパネル展示 場所：山下小体育館 共催：鹿児島県国際交流センター	29名(外国人20名)

(2) 在住外国人支援事業

① 在住外国人のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、マンツーマン方式により日本語習得の支援を実施しました。

行事名	開催日・月	内容	参加者数
日本語支援	前期 5～9月 後期 10月～ 2月	在住外国人へのマンツーマンによる生活支援のための語学学習（各ペア8回ずつの支援）	前期:外国人 24名・支援者 25名 後期:外国人 と支援者 各 23名

② 日本語支援プロジェクトワーク

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、外国人と日本人のグループが課題となるテーマについて日本語で協議し、解決策を見出すグループワークを実施しました。

行事名	開催月等	内容	参加者数
日本語支援グループワーク（前期） ～在住外国人のための漢字教科書づくり～	10月～12月 全10回	在住外国人と日本人ボランティアのグループによる日本語支援	6～12名
日本語支援グループワーク（後期） ～「日本語でプレゼン」～	1月～3月 全10回	在住外国人と日本人ボランティアのグループによる日本語支援	8～12名
日本語でプレゼンテーション	3月18日	後期グループワークの成果発表会	38名(外国人 13名)

③ 日本語支援ボランティア養成

外国人の生活に必要な日本語習得を支援するための日本語支援ボランティアを養成する講座を開催しました。

行事名	開催月等	内容	参加者数
日本語支援ボランティア養成講座	1月～3月 全6回	日本語講師による日本語支援ボランティア養成講座	17～27名(外国人協力者 11名)

④ 鹿児島市外国人相談デスクの運営（鹿児島市委託事業）【新規】

令和4年7月から外国人相談デスクを開設し、外国人からの生活相談に多言語で対応しました。（相談件数：85件）

⑤ 外国人相談事業

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
外国人住民のためのお天気教室 & 防災セミナー (再掲)	5月15日	市危機管理課等の協力による気象や防災に関する正しい知識を学んでもらうための研修会と相談会(生活情報勉強会と同時開催)	28名(外国人17名)
外国人住民のための一日本料相談会(仕事・起業)	7月10日	ハローワーク等の協力による仕事や起業をテーマにした相談会と講座	外国人14名
外国人住民のための一日本料相談会(教育)	8月11・12日	教育委員会等の協力による教育に関する相談会 ※12日は鹿児島島イスラム文化センターで開催	外国人32名
外国人住民のための一日本料相談会(行政書士による専門相談)	11月20日	行政書士による在留資格等に関する相談会	外国人12名
外国人住民のための一日本料相談会(税理士による専門相談)	2月5日	税理士による確定申告等に関する相談会	外国人5名
外国人住民のための一日本料相談会(医師等による専門相談)	3月19日	小児精神科医等による医療に関する相談会	外国人6名

⑥ 災害時等外国人対応研修会

災害時などにおける在住外国人の避難行動等を支援することを目的とした研修会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
消防局多言語対応訓練	8月26日	外国人から要救助の電話を想定した3者通訳対応訓練 場所：市消防局	外国人3名
災害時における外国人対応研修会	12月18日	災害時における在住外国人への必要な情報伝達についてのオンライン講演とワークショップ	30名

⑦ 災害時通訳ボランティアの登録・育成事業

災害時における多言語での情報発信や、在住外国人の支援を行う通訳ボランティアを登録・育成することを目的とした研修会や登録会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
災害時多言語支援ボランティア研修会 & 登録説明会	12月18日	災害時における在住外国人の避難行動等を支援することを目的とした通訳ボランティアの研修会と登録説明会	17名

⑧ 多言語交流会

在住外国人同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ベトナム語おしゃべり会	9月25日	ベトナム語による日本文化や日本で生活について話し合う交流会	ベトナム人9名

⑨ テーマ別交流会

共通の悩みを持つ在住外国人同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
外国人子育て交流会	3月19日	子育てをテーマにした意見交換・交流会	外国人9名

5 国際交流センターの管理運営に関する事業

利用者が安全かつ快適に利用できるよう、指定管理者制度に基づき、国際交流センターの維持管理及び運営を適切に行いました。

また、市民の平等利用及び市民サービスの向上に努め、研修室等の貸出しを行うとともに、センターを活用して財団の定款に定める事業を実施することにより、市民による国際交流事業等の促進を図りました。

令和4年度利用実績（人、件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	6,153	6,876	6,222	6,660	5,294	5,714	8,691	7,498	5,227	5,850	6,949	5,599	76,733
施設貸出件数	132	150	147	174	132	161	179	197	147	144	166	175	1,904
登録団体利用	14	13	14	17	12	16	24	29	22	21	16	21	219

※登録団体 31団体（令和5年3月31日現在）

<部屋別内訳>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
多目的ホール	26	30	19	38	28	33	41	43	28	32	28	22	368
研修室1	39	40	40	36	30	33	43	51	33	36	37	45	463
研修室2	29	38	39	46	35	40	40	46	33	34	45	42	467
調理室	9	9	9	12	8	11	10	11	11	9	14	11	124
和室	27	29	38	34	26	37	38	40	35	31	38	51	424
屋上テラス	2	4	2	8	5	7	7	6	7	2	4	4	58

年度別利用実績（人、件）

	2年度	3年度	4年度	累計
入館者数	38,227	59,385	76,733	174,345
施設貸出件数	747	1,534	1904	4,185
登録団体利用	153	187	219	559

6 利用者サービス事業

館内に自動販売機を設置するなど、利用者の利便性の向上を図るための取組を行いました。

Ⅲ 組織運営状況

1 理事会・評議員会開催

令和4年度に開催した会議の議決事項等は、次のとおりです。

(1) 理事会

区分	開催日	議決事項及び報告事項等
第1回	令和4年4月28日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和4年度第1回評議員会(書面決議)招集の件
第2回	令和4年5月20日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和4年度第2回評議員会(書面決議)招集の件
第3回	令和4年6月2日 (出席者 13名中13名)	[報告事項] 理事長及び常務理事の職務の執行状況報告 [議決事項] 第1号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告の件 第2号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和4年度第3回評議員会の招集の件
第4回	令和4年6月22日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事長選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団常務理事選任の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和4年度第4回評議員会(書面決議)招集の件
第5回	令和4年12月15日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団職員就業規則一部改正の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団職員給与規程一部改正の件
第6回	令和5年3月16日 (出席者 13名中10名)	[報告事項] 理事長及び常務理事の職務の執行状況報告 [議決事項] 第1号 令和4年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支補正予算(第1号)の件 第2号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画の件 第3号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算の件 第4号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件 第5号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和4年度第5回評議員会招集の件

(2) 評議員会

区分	開催日	議決事項及び報告事項等
第1回	令和4年5月13日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事の選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団監事の選任の件
第2回	令和4年5月31日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事の選任の件
第3回	令和4年6月22日 (出席者 11名中6名) ※第6号議案は定足数(2/3)に満たないため不成立	第1号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告の件 第2号 令和3年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員の選任の件 第4号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事の選任の件 第5号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団監事の選任の件 第6号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件
第4回	令和4年6月30日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件
第5回	令和5年3月29日 (決議の省略)	[報告事項] ① 令和4年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支補正予算(第1号)の件 ② 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画の件 ③ 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算の件 ④ 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件 [議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事選任の件

2 賛助会員(各年度3月31日現在)

(人、団体)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
個人会員数	880	902	748	533	500
団体会員数	45	47	48	48	41

3 役員・評議員（令和5年3月31日現在）

(1) 役員（定款第29条に基づく理事・監事）

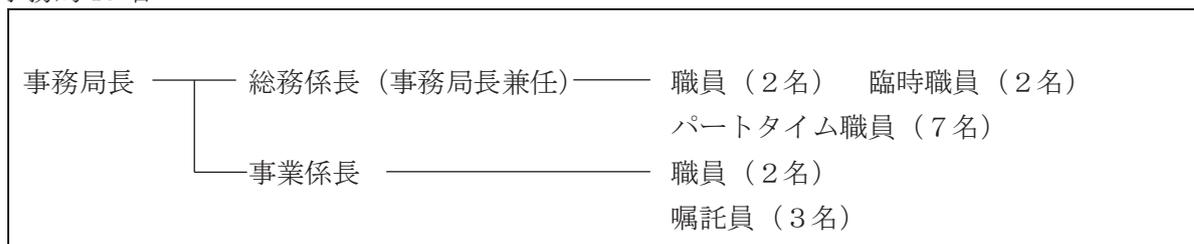
役職名	氏名	備考
理事長 (常務理事)	中 菌 正 人	公益財団法人鹿児島市国際交流財団（業務執行理事）
理 事	門 田 晶 子	鹿児島日米協会会長
〃	手 嶋 道 男	鹿児島外語学院SGG代表
〃	三 島 盛 武	鹿児島県マレーシア友好協会副会長
〃	南 徹	鹿児島 i B S 国際懇話会会長
〃	弓 場 秋 信	鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長
〃	山 口 大 地	鹿児島大学学生部長
〃	池 田 哲 也	公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会専務理事
〃	飯 田 伸 二	鹿児島国際大学副学長
〃	今 村 仁	株式会社南日本新聞社営業局長
〃	大 山 かおり	鹿児島市総務局市長室長
監 事	上 山 寛	上山寛税理士事務所
〃	小 林 拓 史	鹿児島市会計管理者

(2) 評議員（定款第14条に基づく評議員）

役職名	氏名	備考
評議員	今 村 進 一	鹿児島ライオンズクラブ代表
〃	志 賀 玲 子	志学館大学法学部教授
〃	永 田 福 一	鹿児島県中小企業団体中央会専務理事
〃	久 永 修 平	鹿児島県経営者協会常任理事
〃	礼満ハフーズ	鹿児島大学理学部准教授
〃	鎌 田 敬	鹿児島市日中友好協会会長
〃	西 野 友季子	天文館ホテル協議会会長
〃	東 康 弘	鹿児島県経済農業協同組合連合会代表理事専務
〃	中 野 寿 康	鹿児島ロータリークラブ会長
〃	宮 浦 和 英	鹿児島商工会議所事務局長
〃	枝 元 昌一郎	鹿児島市総務局長

4 事務局体制（令和5年3月31日現在）

事務局 18 名



IV 附属明細書の作成について

上記の事業報告書について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和4年度事業報告の附属明細書は作成していません。

I 貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,501,720	17,397,758	5,103,962
未収金	592,730	597,928	△ 5,198
貯蔵品	69,607	53,815	15,792
流動資産合計	23,164,057	18,049,501	5,114,556
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
積立預金	4,782,480	3,906,000	876,480
特定資産合計	4,782,480	3,906,000	876,480
(3) その他固定資産			
車両運搬具	286,000	572,000	△ 286,000
預託金	9,100	9,100	0
その他固定資産合計	295,100	581,100	△ 286,000
固定資産合計	8,077,580	7,487,100	590,480
資産合計	31,241,637	25,536,601	5,705,036
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,269,823	8,559,245	3,710,578
前受会費	5,000	0	5,000
預り金	77,918	69,098	8,820
流動負債合計	12,352,741	8,628,343	3,724,398
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,782,480	3,906,000	876,480
固定負債合計	4,782,480	3,906,000	876,480
負債合計	17,135,221	12,534,343	4,600,878
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産	11,106,416	10,002,258	1,104,158
正味財産合計	14,106,416	13,002,258	1,104,158
負債及び正味財産合計	31,241,637	25,536,601	5,705,036

II 貸借対照表内訳表
令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	14,529,121	124,641	7,847,958	0	22,501,720
未収金	580,565	9,158	3,007	0	592,730
貯蔵品	34,747	0	34,860	0	69,607
流動資産合計	15,144,433	133,799	7,885,825	0	23,164,057
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0	0	0	3,000,000
(2) 特定資産					
積立預金	4,782,480	0	0	0	4,782,480
特定資産合計	4,782,480	0	0	0	4,782,480
(3) その他固定資産					
車両運搬具	257,400	0	28,600	0	286,000
預託金	8,190	0	910	0	9,100
その他固定資産合計	265,590	0	29,510	0	295,100
固定資産合計	8,048,070	0	29,510	0	8,077,580
資産合計	23,192,503	133,799	7,915,335	0	31,241,637
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	10,462,640	12,498	1,794,685	0	12,269,823
前受会費	5,000	0	0	0	5,000
預り金	56,208	0	21,710	0	77,918
流動負債合計	10,523,848	12,498	1,816,395	0	12,352,741
2. 固定負債					
退職給付引当金	4,744,332	0	38,148	0	4,782,480
固定負債合計	4,744,332	0	38,148	0	4,782,480
負債合計	15,268,180	12,498	1,854,543	0	17,135,221
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
指定正味財産合計	3,000,000	0	0	0	3,000,000
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	0	0	0	3,000,000
2. 一般正味財産	4,924,323	121,301	6,060,792	0	11,106,416
正味財産合計	7,924,323	121,301	6,060,792	0	14,106,416
負債及び正味財産合計	23,192,503	133,799	7,915,335	0	31,241,637

Ⅲ 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	60	300	△ 240
基本財産受取利息	60	300	△ 240
特定資産運用益	37	29	8
特定資産受取利息	37	29	8
受取会費	932,500	1,048,000	△ 115,500
賛助会員受取会費	932,500	1,048,000	△ 115,500
事業収益	589,846	403,946	185,900
事業収益	462,100	308,200	153,900
収益事業収益	127,746	95,746	32,000
受託事業収益	78,926,664	67,795,989	11,130,675
受託事業収益	3,424,184	0	3,424,184
指定管理受託事業収益	75,502,480	67,795,989	7,706,491
受取負担金	2,213,750	2,172,500	41,250
受取負担金	2,213,750	2,172,500	41,250
雑収益	26,030	16,794	9,236
受取利息	255	187	68
雑収益	25,775	16,607	9,168
経常収益計	82,688,887	71,437,558	11,251,329
(2) 経常費用			
事業費	67,919,961	56,700,501	11,219,460
役員報酬	1,426,944	1,426,944	0
給料手当	35,413,420	32,451,316	2,962,104
退職給付費用	876,480	815,100	61,380
福利厚生費	5,480,235	5,085,428	394,807
旅費交通費	27,380	13,350	14,030
通信運搬費	333,239	280,126	53,113
減価償却費	257,400	257,400	0
消耗品費	952,696	748,646	204,050
修繕費	9,594	0	9,594
印刷製本費	833,430	409,632	423,798
燃料費	26,261	0	26,261
光熱水料費	3,109,609	1,747,825	1,361,784
使用料・賃借料	232,262	218,988	13,274
保険料	186,669	135,074	51,595
租税公課	4,304,700	4,000	4,300,700
手数料	143,623	136,391	7,232
報償費	1,541,001	1,260,185	280,816
負担金・補助金	2,683,880	2,627,884	55,996
委託費	10,081,138	9,082,212	998,926

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	13,664,768	11,096,714	2,568,054
役員報酬	2,350,416	2,360,416	△ 10,000
給料手当	2,801,660	2,583,727	217,933
福利厚生費	859,324	841,193	18,131
会議費	3,440	7,939	△ 4,499
通信運搬費	446,938	424,703	22,235
減価償却費	28,600	28,600	0
消耗什器備品費	192,830	0	192,830
消耗品費	549,842	566,471	△ 16,629
修繕費	182,566	334,190	△ 151,624
印刷製本費	512,987	575,222	△ 62,235
燃料費	2,754	27,953	△ 25,199
光熱水料費	342,646	192,371	150,275
使用料・賃借料	1,125,072	1,082,022	43,050
保険料	5,283	25,730	△ 20,447
租税公課	802,000	79,000	723,000
手数料	421,355	435,885	△ 14,530
負担金・補助金	313,164	313,270	△ 106
委託費	2,723,891	1,218,022	1,505,869
經常費用計	81,584,729	67,797,215	13,787,514
評価損益等調整前当期經常増減額	1,104,158	3,640,343	△ 2,536,185
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	1,104,158	3,640,343	△ 2,536,185
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,104,158	3,640,343	△ 2,536,185
一般正味財産期首残高	10,002,258	6,361,915	3,640,343
一般正味財産期末残高	11,106,416	10,002,258	1,104,158
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	14,106,416	13,002,258	1,104,158

IV 正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	60	0	0	0	60
基本財産受取利息	60	0	0	0	60
特定資産運用益	37	0	0	0	37
特定資産受取利息	37	0	0	0	37
受取会費	932,500	0	0	0	932,500
賛助会員受取会費	932,500	0	0	0	932,500
事業収益	462,100	127,746	0	0	589,846
事業収益	462,100	0	0	0	462,100
収益事業収益	0	127,746	0	0	127,746
受託事業収益	64,834,436	0	14,092,228	0	78,926,664
受託事業収益	3,190,004	0	234,180	0	3,424,184
指定管理受託事業収益	61,644,432	0	13,858,048	0	75,502,480
受取負担金	2,213,750	0	0	0	2,213,750
受取負担金	2,213,750	0	0	0	2,213,750
雑収益	255	25,775	0	0	26,030
受取利息	255	0	0	0	255
雑収益	0	25,775	0	0	25,775
経常収益計	68,443,138	153,521	14,092,228	0	82,688,887
(2) 経常費用					
事業費	67,857,430	62,531	0	0	67,919,961
役員報酬	1,426,944	0	0	0	1,426,944
給料手当	35,413,420	0	0	0	35,413,420
退職給付費用	876,480	0	0	0	876,480
福利厚生費	5,480,235	0	0	0	5,480,235
旅費交通費	27,380	0	0	0	27,380
通信運搬費	333,239	0	0	0	333,239
減価償却費	257,400	0	0	0	257,400
消耗品費	952,696	0	0	0	952,696
修繕費	9,594	0	0	0	9,594
印刷製本費	833,430	0	0	0	833,430
燃料費	26,261	0	0	0	26,261
光熱水料費	3,083,834	25,775	0	0	3,109,609
使用料・賃借料	219,686	12,576	0	0	232,262
保険料	186,669	0	0	0	186,669
租税公課	4,285,800	18,900	0	0	4,304,700
手数料	138,343	5,280	0	0	143,623
報償費	1,541,001	0	0	0	1,541,001
負担金・補助金	2,683,880	0	0	0	2,683,880
委託費	10,081,138	0	0	0	10,081,138

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
管理費	0	0	13,664,768	0	13,664,768
役員報酬	0	0	2,350,416	0	2,350,416
給料手当	0	0	2,801,660	0	2,801,660
福利厚生費	0	0	859,324	0	859,324
会議費	0	0	3,440	0	3,440
通信運搬費	0	0	446,938	0	446,938
減価償却費	0	0	28,600	0	28,600
消耗什器備品費	0	0	192,830	0	192,830
消耗品費	0	0	549,842	0	549,842
修繕費	0	0	182,566	0	182,566
印刷製本費	0	0	512,987	0	512,987
燃料費	0	0	2,754	0	2,754
光熱水料費	0	0	342,646	0	342,646
使用料・賃借料	0	0	1,125,072	0	1,125,072
保険料	0	0	5,283	0	5,283
租税公課	0	0	802,000	0	802,000
手数料	0	0	421,355	0	421,355
負担金・補助金	0	0	313,164	0	313,164
委託費	0	0	2,723,891	0	2,723,891
経常費用計	67,857,430	62,531	13,664,768	0	81,584,729
評価損益等調整前当期経常増減額	585,708	90,990	427,460	0	1,104,158
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	585,708	90,990	427,460	0	1,104,158
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
過年度修正（他会計振替分）	△ 2	2	0	0	0
経常外費用計	△ 2	2	0	0	0
当期経常外増減額	2	△ 2	0	0	0
他会計振替額	39,205	△ 39,205	0	0	0
当期一般正味財産増減額	624,915	51,783	427,460	0	1,104,158
一般正味財産期首残高	4,299,408	69,518	5,633,332	0	10,002,258
一般正味財産期末残高	4,924,323	121,301	6,060,792	0	11,106,416
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	7,924,323	121,301	6,060,792	0	14,106,416

V 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(2) 退職給付引当金の計上基準

職員の退職給付に備えて、退職金手当支給規程による要支給額に基づき計上している。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

(4) 貯蔵品の評価方法

貯蔵品の評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
小計	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
特定資産				
退職給付引当資産	3,906,000 円	876,480 円	0 円	4,782,480 円
小計	3,906,000 円	876,480 円	0 円	4,782,480 円
合計	6,906,000 円	876,480 円	0 円	7,782,480 円

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	0 円
小計	3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	0 円
特定資産				
退職給付 引当資産	4,782,480 円	0 円	0 円	4,782,480 円
小計	4,782,480 円	0 円	0 円	4,782,480 円
合計	7,782,480 円	3,000,000 円	0 円	4,782,480 円

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価格、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	取得金額	当年度減価償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,144,000 円	286,000 円	858,000 円	286,000 円
合計	1,144,000 円	286,000 円	858,000 円	286,000 円

VI 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2に記載している。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,906,000 円	876,480 円	0	0	4,782,480 円

VII 財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金 預金		手元保管	小口現金	12,600	
		当座預金	会費納入	1,154,831	
		ゆうちょ・166520	普通預金	19,452,278	
		鹿銀上町・3010312	鹿銀上町・3030354	会費納入	1,877,199
		鹿銀市役所・3025669	ウクライナ避難者支援金受取	0	
未収金 貯蔵品		定期預金	基本財産受取利息	4,812	
		鹿銀上町・4008328	県指定管理者受取負担金等	592,730	
				69,607	
流動資産合計				23,164,057	
(固定資産)					
基本財産	定期預金	定期預金	公益目的保有財産	3,000,000	
	定期預金(指定)	鹿銀上町・4008328			
特定資産	積立預金	普通預金	退職給付引当金	4,782,480	
	積立預金(一般)	鹿銀上町・3013719			
その他固定資産	車両運搬具	自家用軽自動車1台	90%は公益目的保有財産、10%は法人管理活動の用に供する財産であり、共有財産	286,000	
	預託金	車両リサイクル預託金1台分	上記車両運搬具処分時まで保有するもの。90%は公益目的保有財産、10%は法人管理活動の用に供する財産であり、共有財産	9,100	
固定資産合計				8,077,580	
資産合計				31,241,637	
(流動負債)					
未払金			公益目的事業及び管理業務に供する業者未払い分、鹿児島市への委託料等返金分	12,269,823	
			令和5年度会費納入	5,000	
前受会費 預り金		雇用保険	公益目的事業及び管理業務に供する職員等の雇用保険	77,918	
流動負債合計				12,352,741	
(固定負債)					
	退職給付引当金			4,782,480	
固定負債合計				4,782,480	
負債合計				17,135,221	
正味財産				14,106,416	

監査報告書

令和5年5月23日

公益財団法人鹿児島市国際交流財団
理事長 中 蘭 正 人 殿

公益財団法人鹿児島市国際交流財団

監 事 小林拓史 

監 事 上山寛 

私たちは、公益財団法人鹿児島市国際交流財団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における会計及び職務執行等に関して当財団事務所において監査を行い、以下のとおり監査の結果を報告する。

1. 監査の方法及び概要

- (1) 帳簿並びに関係書類の閲覧など必要な監査手続を実施し、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 理事会及びその他の会議に出席し、理事から職務の執行状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要な監査手続を実施し、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、当財団の収支状況及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書は、財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

